

見た目は似ていても・・・

ニリンソウとヤマトリカブト (有毒)

実際にあった事例

平成17年、トリカブトの食中毒による死亡事故が発生しました。ニリンソウと間違えてトリカブトを食べてしまったことによるものです。



ニリンソウの芽生え



モミジガサの芽生え



ヤマトリカブトの芽生え



ニリンソウ 花期



モミジガサ 花期



ヤマトリカブト 花期



ニリンソウは春に白い花を付けるが、ヤマトリカブトは秋に紫色の花を付けるよ。

でも、花がないとヤマトリカブトにとても似ているのう。



ニリンソウの地下部

地下茎は横にはいます。



ヤマトリカブトの地下部

紡すい形で、猛毒の塊根があります。



ニリンソウとヤマトリカブトは同じ環境に生えます。

ニリンソウをつむ時は混入しないように注意が必要です。

ヤマトリカブト(キンポウゲ科)

ヤマトリカブトは山地の林に自生するキンポウゲ科の多年草です。草丈は1m内外で、花を付ける頃には茎が下垂します。9月～10月頃、茎頂の葉腋に紫色の花を多数付けます。

トリカブトの名前は、花の形が舞楽の奏者がかぶる冠に似ているところから名付けられました。

植物全体にアコニチンなどのアルカロイドを含有しており、特に根の部分は猛毒です。誤食すると、おう吐、下痢、手足や指の麻ひの中毒症状を起こし、重症の場合には、死亡することもあります。



有毒

ハナトリカブト(カラトリカブト)

中国原産の植物で、薬用植物として栽培されています。ヤマトリカブトと同様のアルカロイドを含有し、特に塊状の根は猛毒です。